

るのは初めてなのですが、とても話しやすかったです。私が出産した病院が、総合病院ということもあるのかもしれませんが、病院ではなかなか助産師と話す機会がありませんでした。こうして自宅まで来てくれて、いろいろなことを聞くことができましたので、良かったです。母乳をどれくらいのパースであげたらいいのか、母乳が詰まったらどうしたらいいのか、

何でも助産師さんに相談していいんだということを知り、安心しました。

——本町では『太陽の手 子育て支援』など、さまざまな支援を行っています。これらの支援に対して、どう思いますか。

春葉さん：今日、減免シールが貼られた「乳幼児用のごみ袋」をいただきました。オムツでのごみ袋が、あつという間に無くなるので、とても助かります。

出産祝い金として、シラトピア商品券ももらえると聞きました。長男の入学祝金でシラトピア商品券をいただいたときに、正直どこで使えるのかが分からなくて、調べました。文句は言えませんが、せっかくなので、使用できる店舗が増えたらいいのに、と思います。

白糠こども園に、6カ月月から入園させようと思うのですが、園ではミルクで育てることになるので、母乳で育てたいなど。私もそうですけれど、母乳で育てたいと思ってる母親は少なくないので、冷凍母乳も使えたらいいなという

気持ちがあります。衛生面ですとか、いろいろと難しい課題はあると思うのですが、それが可能になればうれしいです。

白糠町では、給食費や医療費の無料など、子育てに手厚い支援があります。これだけの支援がなければ、3人の子どもを育てるのは、難しいかもしれません。子どもが好きなので、子育てを第一に考えたら白糠町だなんて思います。「子育て」といえば「白糠町」というのが私の中にはあります。



かめだ・はるは
亀田 春葉さん

釧路市生まれ／31歳
釧路短期大学卒業後、市内の幼稚園に勤務。結婚を機に白糠町へ。白糠こども園勤務。趣味は旅行、温泉。休日は、子どもと一緒に買い物に行ったり公園で遊んだりしている。

■妊娠・出産・子育てに関する相談は、役場介護健康課健康相談係
01547・2・2171（内線592・593）まで。

介護健康課の支援策

■不妊治療にかかる支援

平成28年度から、不妊治療を受けようとする夫婦の精神的、経済的な負担を軽減するため、保険適用外の不妊治療にかかる費用を全額助成しています。これまで8人の方がご懐妊されています。

■出産祝い金の支給

次世代を担う子どもの誕生を祝し、平成29年度から5万円分のシラトピア商品券を贈呈しています。（平成29年度は第1子のみが対象）

【実績】平成30年度／25人、令和元年度／26人

■乳幼児用ごみ袋の支給

少子化対策の一環として、平成20年7月から1歳未満の子ども、平成28年度からは2歳未満の子どもに対象範囲を広げ、週1枚合計120枚のおむつ用可燃ごみ袋を支給しています。

【実績】平成30年度／27人、令和元年度／36人

後列左から／亀田未来ちゃん、亀田歩くん
前列左から／亀田春葉さんと仁架ちゃん、助産師の本郷恵さん。